



## Policy 「ましる」の運営ポリシー

ましるでは、東川口を中心としたこの地域に根差し、地域の皆さまの生活に寄り添った訪問看護サービスを提供いたします。

ご利用者のひとりひとりが最期まで「私らしく」生きることができるよう、また、そのご家族や介護・介助をされる方までが安心して日々の生活を送ることができるよう、誠心誠意のサポートをすることが私たちの務めです。

そのためには、私たちが日々の訪問の中でご利用者の病状・心身の状態・生活環境を正しく把握し、私たちと共にご利用者のサポートをしていく、主治医・かかりつけの先生をはじめとした医療関係の皆さまや、ケアマネジャーをはじめとした介護関係の皆さまへの、確かな情報共有をさせていただくことが必要不可欠だと考えております。

連携先となる皆さまから、「ましるなら安心して任せられる」と信頼して頂ける訪問看護ステーションとなれるよう、迅速・丁寧なコミュニケーションを心がけてまいります。

管理者 角田 幸恵 (看護師)



## Service サービス提供の特徴3つ

### ① 全領域の受け入れ

慢性期から終末期、小児(新生児)から老年、がん、難病、精神…等、あらゆる疾患・状態・領域のご利用者を受け入れます。

### ② 24時間365日体制

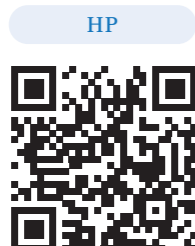
看護師による24時間のオンコール緊急対応体制に加えて、土日祝をはじめとした365日での定期訪問もお受けいたします。

### ③ 看護・リハビリによる生活支援

看護職とリハビリ職が一体となってご利用者の生活をサポートいたします。

## 基本情報

事業所名 ましる訪問看護ステーション 〈訪問看護指定番号 1160290791〉  
所在地 埼玉県川口市戸塚2-22-33 エスポワール408 ※「東川口」駅 徒歩1分  
運営時間 24時間365日 ※定休日なし  
専門職 看護師7名、理学療法士3名、作業療法士2名



## 訪問エリア



埼玉県川口市、さいたま市緑区、越谷市、草加市…等

新規のご相談につきまして、お電話・FAX・Mailにて承っております。お気軽にご連絡ください。

※新規のご相談はいつでもお受けしております。ただし、土日祝と営業時間外については対応が遅くなる可能性がある旨、ご了承ください。  
※訪問スケジュールについてもまずはご相談ください。ご利用者希望に合わせた調整や、土日祝の定期訪問も含めた365日での対応をいたします。  
※退院カンファレンスにつきましても積極的に参加いたしますので、入院中(退院前)につきましても是非お声がけください。



# Mashiro Letter

## Contents

・スタッフ紹介

「私が、【在宅リハ】で大切にしていること」

・事例紹介

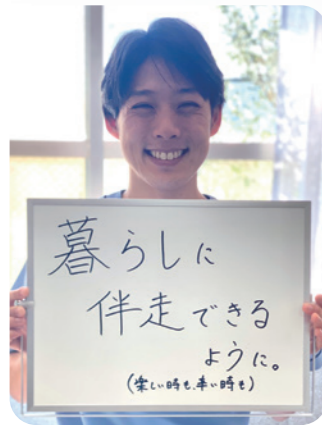
「がん術後の90代男性、  
家族と共に取り組む生活支援とリハビリテーション」

・お知らせ



# 私が、【在宅リハ】で大切にしていること。

Mashiro Member  
今回のテーマ

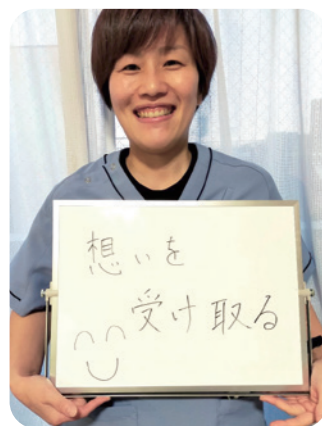


名前 糸魚川(イトイガワ)  
資格 理学療法士

一言コメント  
よく新潟出身？と聞かれますが、実は岐阜県出身！土地の風景が似ていて、埼玉県はとても居心地が良いです。まだ知らないことばかりなので、地域のことをたくさん教えてください！（美味しいカレー屋さんがあれば、ぜひ！笑）

## 臨床経験

大学病院にてあらゆる疾患のリハビリとそのリスク管理について学び、その後約10年間、訪問看護・通所リハビリにて高齢者の自立支援の他、お看取りや小児、ALS等難病の方への支援も多く経験しています。地域に暮らす方々が「明日、今日よりもちょこっと楽しく」なれるようリハビリを探していきたいと思います。

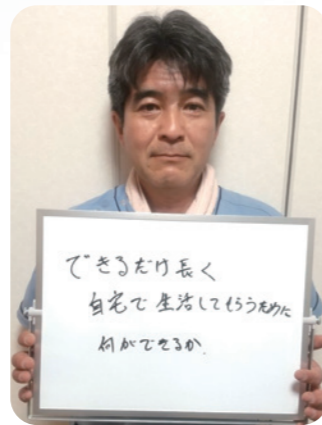


名前 細川(ホソカワ)  
資格 理学療法士

一言コメント  
(現場からの) 直行直帰により、サイクリングという運動習慣を手放しました。明らかな運動不足、を実感しています。生活に結びつけられれば続くはず。朝のゴミ出しからのぶらり散歩始めました。

## 臨床経験

回復期病院、特別養護老人ホーム、デイサービス、訪問看護ステーションにて経験を積み、家族と向き合い専念する時間も時折挟みました。ほっとできる、居心地の良いおうちで、かわらずに過ごしていく為に、今が必要で、今何をしたらいいのか、一緒に考えていけたらと思います。

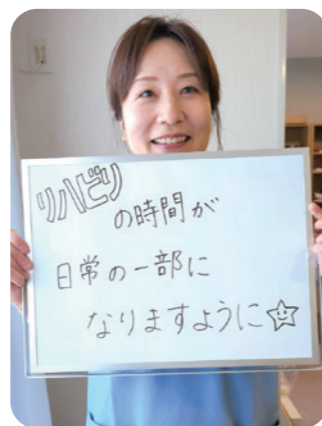


名前 内海(ウツミ)  
資格 理学療法士

一言コメント  
「ましろ」として東川口でお世話になって約7年、どんな方でも対応できるよう心掛けてきました。管理者交代 等はありませんでしたが、引き続きよろしくをお願いします。

## 臨床経験

病院勤務時は、入院・外来の整形外科疾患・脳血管疾患・循環器疾患・呼吸器疾患や外科手術前後・ガン末期、ICUでのリハビリなど、広く浅く？担当していました。訪問を始めて 10年以上になります。得意分野はありませんが、幅広く対応していくことを心掛けています。



名前 小林(コバヤシ)  
資格 作業療法士

一言コメント  
東京で学生時代を過ごし、縁あって東川口周辺に居住し約10年になりました。美味しいお店や季節折々の素晴らしい景色等、まだ知らない事が沢山あります。訪問を通し地域の情報を探していきたいと思います。

## 臨床経験

作業療法学科を卒業後、神奈川県内の病院に就職し外来、一般病棟、回復期病棟の経験の後、都内訪問看護ステーションにて勤務。家庭との両立のため転職し、ましろ訪問看護ステーションに辿り着きました。これまでの臨床経験を生かし、利用者様の生活を支援させていただきたいと考えております。

# がん術後の90代男性、家族と共に 取り組む生活支援とリハビリテーション



## Case study

A氏(仮名) / 90代前半  
疾患名: 転移性肝腫瘍、胃がん術後、大腸がん術後 / 要介護認定: 要介護3

胃癌および直腸癌の術後、食事の1回摂取量が減少傾向にあります。また、手術により直腸を摘出したため、排便コントロールが困難となり、外出機会や運動・活動量が減少していました。転倒や状態の悪化を防ぎ、生活状況を維持するために、息子様からの希望により、看護師が訪問して排便コントロールを行い、療法士が訪問してリハビリを実施し、身体能力の維持をサポートするサービスが開始されました。元々は自宅周りの散歩を欠かさず行っていたが、介入当初は散歩に出かけることはほとんどない状況でした。

## アセスメント

農業をされていたこともあり、体力には自信をお持ちでしたが、手術後は食事量や運動量が減少し、労作時の呼吸困難も増強し、自宅で横になることが多くなっていました。また、室内移動を含めて身の回りのことは自身で行えていたものの、筋力低下により円背が強まり、昔ながらの家屋のため段差が多く、転倒リスクが高いと考えられました。リハビリでは、ADL(Activities of Daily Living) を維持しつつ、転倒を防ぎ、単独で散歩に出かけられることを目標に設定しました。目標達成のためには、常に導線を確認し、役割を持っていただくことで活動量を増加させ、積極的に運動や散歩を行い、筋力・体力の向上と意欲の向上を図る方針としました。

## 提供したケア/リハビリ

2名の理学療法士が連携しながら介入を行いました。

### <主なリハビリ内容>

・ご本人およびご家族からの状態や生活状況の聴取(自発的な不調の訴えはあまりなく、「何でも大丈夫」と心配をかけないような発言が多く、バイタルサイン・筋緊張・動作の反応を観察し体調の変化や過剰な努力による不安定さを判断。)・可動域運動(特に首、肩、胸椎)・足腰の筋力強化、立位バランス練習、ADL練習(トイレや入浴動作、階段昇降)、屋外での長距離歩行、生活の中で役割を持つ促しと見守り(神棚にお供え物を自分で持っていくことが日課だったため、その導線確保と動作の確認・練習)・体調に変化があった際には、ご家族や看護と情報を共有。

### <意識したこと>

息子様はよく本人の様子を観察されていたため、毎回状態や生活状況等の情報を聴き、散歩時の息切れが増強したことに関して呼吸リハビリの相談があった際には、呼吸器疾患はなく円背の進行による呼吸苦であると説明しリハビリの際に伏臥位を取り入れました。また、段差昇降が大変になってきているとのお話を受けて、段差昇降動作の安定化のための練習を開始、さらに、食事の時間が遅くなったという相談に基づき、嚥下機能の低下よりも姿勢の影響が大きいと判断し、嚥下体操に加えて姿勢改善のための頸部の運動を追加しました。

## アウトカム

90歳を迎えた現在も、転倒や状態の悪化なく自宅で過ごされています。昨年感染症に罹患し体力が低下しましたが、その後も自宅内では自立してけています。孫やひ孫が集まる際には、自ら輪の中に入り、笑顔で過ごすなど、意欲を保っています。トイレの処置や神棚へのお供えなど、物を持ちながらの移動も安全に行えています。散歩の機会は減少傾向にありますが、時折実施し、庭の植物に関する話題を明るく表情で話してくれます。

## ご利用者からのコメント

### ご本人

「自分だけではなかなか運動できないので、来てもらって助かっています。」

### お嬢さん

「定期的に訪問が入ってくれることで張り合いが生まれ、本人にとっても良い影響があると感じています。」

### ご子息

「生活にメリハリがついただけでなく、年齢とともに進行する老化を緩やかにしてくれたと感じています。その成果もあり、今も負担なく動けていると思います。」



## ましろ担当者からのコメント



ご本人様は、体調を伺うと気遣いから「大丈夫！」とニコニコされていましたが、訪問時には日常生活での行動を予測し、ご家族様から普段の様子をお聞きすることで、想像と実際の状況との差を修正するよう意識していました。散歩後の息切れや段差昇降時の不安定さ、食事時の咽せなどについてお話があった際、その時の心身機能を評価した上で、ご家族と対応方法を検討し実施した結果、改善が見られた時は嬉しく感じました。今後ご家族とのコミュニケーションを大切に、常に日常生活状況を把握しながら支援を続けていきたいと思います。



名前 内海(ウツミ)  
資格 理学療法士

## 臨床経験

病院勤務時は、入院・外来の整形外科疾患・脳血管疾患・循環器疾患・呼吸器疾患や外科手術前後・ガン末期、ICUでのリハビリなど、広く担当をしていました。訪問を始めて 10年以上になります。特定の分野にこだわらず、幅広く対応していくことを心掛けています。

# Mashiro News

ましろニュース

東川口駅すぐ近くの「かばさん保育園 東川口園」と企業提携をさせていただくこととなりました。今後、弊社で働くメンバーのお子さんが通いやすくなります。

